

酪農経営改善・需給均衡対策事業 (低能力牛淘汰に対し1頭5万円の奨励金支給)

生産本部畜産部食肉課

低能力牛等の早期更新について、

- ・現行の取組計画から「年内の前倒し実施」
- ・都府県全体での「追加的な取組み」にご協力お願いします

背景は...

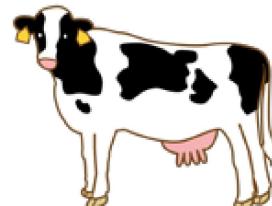


© 2020 Japan Dairy Council

皆様にはこれまで多大なご協力をいただきしておりますが、飲用等向けの価格改定に伴う需要低迷も危惧され、**酪農経営・生乳需給は依然厳しい情勢です**

本事業の取組推進のため...

10月1日より、事業要件が緩和されます



© 2020 Japan Dairy Council

【変更点】事業対象となる乳用牛の要件

- ◆ 令和4年3月1日から9月30日までの期間において、選別（と畜）時点で、30ヶ月齢以上～48ヶ月齢未満
- ◆ 令和4年10月1日から令和5年2月28日の期間において、選別（と畜）時点で、30ヶ月齢以上～60ヶ月齢未満
- ◆ 酪農経営一戸当たり25頭までを上限とし、当該上限頭数に令和4年度の指定団体への委託割合を乗じた頭数とする。

※ その他要件の変更はございません。

**10月1日以降の取組分より、
対象月齢が「60ヶ月齢未満」に広がります**

事業要件を緩和し、「年内の前倒し実施」や「追加的な取組み」を行っていただくことにより、酪農経営・生乳需給の改善を目指します

令和4年度 第一回 熊本県ホルスタイン種推奨種雄牛を選定！

生産本部 指導部 経営支援課

令和4年9月9日（金）に本会3階理事会室にて、令和4年第一回熊本県ホルスタイン種推奨種雄牛選定会議を開催しました。会議には、熊本県乳牛改良同志会、熊本県乳用牛群検定組合、熊本県酪農青壯年部協議会の各代表者に選定委員としてご参加頂きました。

選定会議では、8月に公表された国内種雄牛評価値（NTP）とアメリカ種雄牛評価値（TPI）、カナダ種雄牛評価値（LPI）ドイツ種雄牛評価値（RZG）を参考にするとともに、各授精所からご推薦頂いた種雄牛の中から協議の上、推奨種雄牛を決定しました。

国産牛

| 順位 | NTP | 略号 | 名号 | 血統 | | 価格帯 | |
|-------------|-------|-----------|-------------------------------|-----------|---------|---------|---------|
| | | | | 父 | 母の父 | 通常 | 雌価格 |
| NTP 第1位 | 2,853 | JP3H57843 | ワイケーランド フアリス コンシエルジュ ET | コブラ | ミッドナイト | 3,000円台 | 8,000円台 |
| NTP 第2位 | 2,679 | JP3H58010 | ファインデール ホット ブーティー ET | ホットロッド | バリスト | 3,000円台 | 8,000円台 |
| NTP 第5位 | 2,470 | JP5H58237 | サンライズジオングシャム ロック ET | ジオング | ヘッドライナー | 3,000円台 | 8,000円台 |
| NTP 第10位 | 2,384 | JP5H58096 | K ホットロード パリス ET | アルタホットロッド | フェイスブック | 2,000円台 | 6,000円台 |
| NTP 第15位 | 2,179 | JP3H58247 | ボーマツズ アルタ バンコ ウーノ ET | バンコ | パワーボールP | 2,000円台 | 6,000円台 |
| NTP 第13位 | 2,214 | JP4H57882 | TLM アセンデツド マスター | ブルーマスター | ブツケム | 1,000円台 | 6,000円台 |
| NTP 第20位 | 2,044 | JP3H58111 | MR オールダーランド ドラゴンボール 160 ET | パワーボールP | スタイルP | 1,000円台 | 6,000円台 |
| NTP 第22位 | 1,998 | JP5H58602 | K アレクシア ドラコ バーレー ET | バーリー | ドラコ | 1,000円台 | 6,000円台 |

輸入牛

| 順位 | NTP 換算 | 略号 | 名号 | 血統 | | 価格帯 | |
|-------------|-----------|-----------|-------------------------------|---------|---------|---------|----------|
| | | | | 父 | 母の父 | 通常 | 雌価格 |
| TPI 第1位 | 4,071 | 7H14454 | ミスター T-スプルース フラツズ ライオネル ET | フラズルド | モントロス | 5,000円台 | 10,000円台 |
| TPI 第11位 | 2,901 | 734H00091 | BGP ヨロ ET | バンダレス | メリディアン | 4,000円台 | 8,000円台 |
| TPI 第13位 | 2,828 | 551H3529 | ハートジエンリー リチャード チャール ET | チャーリー | ヨダー | 4,000円台 | 10,000円台 |
| TPI 第18位 | 2,445 | 7H14160 | チエリーリリー ジップ ラスター P ET | ジップイットP | キングボーアイ | 3,000円台 | 8,000円台 |
| LPI 第1位 | 3,054 | 200H11000 | ウエストコースト アルコーブ | デューク | MVP | 4,000円台 | 8,000円台 |
| RZG 第42位 | 3,323 | D-811607 | カツク ホルスタインズ ガムボア ET | ジムナスト | ローバツハ | 4,000円台 | 8,000円台 |

第2回酪農後継者育成塾が開催されました

生産本部 営農指導課



南部本部長

需給緩和の実情についての話がありました。また、これから熊本の酪農を担っていく受講者へ向けて激励の言葉がありました。

今回の育成塾は「移行期管理について」と題し、全酪連福岡支所の加藤秀幸氏により、周産期に乳牛に起きる疾病や、それらにまつわる原因や予防などについてご講演頂きました。



講師：加藤氏

代表的な周産期疾病である「第四胃変位」「ケトーシス」「低カル」については、それぞれ単独の発症であれば治し易い病気であるが、例えるな

去る8月25日（木）に令和4年度第2回酪農後継者育成塾が開催され、25名が受講しました。

冒頭の挨拶では、らくのうまザーズ南部生産本部長より11月からの乳価についての説明と、

ら複数の疾病が糸のように絡まることで難治になるとのことでした。また、診断に使用する血液検査項目も、そもそも脱水などで体液量が変動していると、それらが異常値を示すことがあるので、乳牛たちの飲水の重要性についてもお話しいただきました。

これら疾病の予防について重要な対策として、長期不受胎牛を減らすことを挙げられました。低泌乳での長期泌乳を行うと、体重増加やインスリン抵抗性などリスクを高めるので、「泌乳末期」という牛本体に栄養配分が高まる時期にいかに上手く飼うかがポイントであるとのことでした。

今回の講演についてのアンケートでは、「牛のBCSに気をつけて、長期不受胎牛にならないようにしたい」、「過密にならないような飼育管理をしたい」、「難治にならないよう、病気の早期発見に努める」など、たくさんの感想を頂きました。



講演風景

令和4年度も後継者の育成や交流を目的とした酪農後継者育成塾を全5回で開催予定です。ご興味のある方やお問い合わせ等ございましたら担当までご連絡下さい。

(営農指導課 096-388-3510 担当：作村)



子牛のクリプトスピロジウム感染症について

生産本部指導部技術課 大里 広顕

序論

暑い夏が過ぎ、この原稿が出る頃には朝晩寒くなっていると思います。夜間の温度が下がると、必ず増える疾病が子牛の下痢症です。子牛の感染性下痢の原因は細菌、ウイルス、原虫等があります。子牛の死亡が多い生後1か月以内の下痢では、原虫のクリプトスピロジウム（クリプト）が原因の半分以上を占めます。クリプトによる下痢の発生日齢は3から20日齢で、発生のピークは10日齢前後のため、免疫機能が未熟な子牛が多く感染することが問題となります。下痢は水様性で、長期化すると子牛は衰弱し、斃死する場合もあります。またロタウイルス等と混合感染してしまうと、重症化し長期間の治療が必要になる症例が多くみられます。死なずに済んでも、発育が遅れるために、経済的な損失は少なくありません。

症状・病態

クリプトは感染型であるオーシストと呼ばれる卵で他の個体に侵入し、小腸粘膜に感染すると、腸管粘膜の組織を壊すため、吸収不良性の下痢を引き起こします。吸収不良を起こした子牛は、代謝性アシドーシスの症状が現れます。代謝性アシドーシスの特徴は「沈うつ」であり、ミルクを吸う力が弱い、ミルクを飲んだ後にすぐ寝る、ふらつく、起立が悪い、等の症状が現れます。この症状は、代謝性アシドーシスによる血液中の重炭酸イオン低下による中枢神経の機能障害が原因です。



下痢でアシドーシスによる“沈うつ”の症状を呈した子牛

治療法

現在、クリプトに直接作用する特効薬はなく、抗菌薬を使用しても効果はありません。初期の感染では、下痢の症状を緩和させるために、整腸剤や、木酢と炭素末の混合剤、鶏卵由来のクリプトやロタウイルス等に反応する抗体を含む添加剤の経口投与が推奨されています。経口薬により、多くの子牛は3日程度で便が改善しますが、経口投与処置の遅れた子牛や、免疫機能が低下している子牛に対してはあまり効果がありません。下痢による吸収不良から起立不良や、ミルクの飲みが落ちる等の症状が現れたら補液等の処置が必要なので、かかりつけの獣医師に連絡してください。

予防

クリプトには直接作用する特効薬がないため、予防が重要になります。クリプトのオーシストは消毒薬に強い抵抗性を示し、オルソ剤やアルデヒド系消毒剤が多少効果を示す程度です。有効な予防法としては、子牛の隔離飼育、飼養するケージや床面の火炎滅菌、消石灰の塗布があります。しかし、牛舎内にはクリプトのオーシストが大量に存在しています。子牛は数個のオーシストからクリプトに感染してしまうため、完全に清浄化することは難しいと考えます。そこで子牛の飼養環境を衛生的に保つことと並行して、クリプトに感染しても数日で回復するように、子牛の状態を維持することが現実的な対策になります。

牛は胎盤の構造上、妊娠中に免疫グロブリンの移行が行われないため、子牛は血中に抗体を持っていない状態で生まれてきます。子牛が生後24時間以内に抗体を含んだ初乳を摂取すると、初乳中の抗体は移行抗体として子牛の腸管から血中へ移行します。子牛の免疫は初乳に依存しているので、「良質の初乳を、生後なるべく早く、たくさん与える」ことが重要です。現在、クリプトに対しては有効なワクチンがありませんが、クリプトとロタウイルス等の混合感染を防ぐために、下痢5種混合ワクチンを母牛に使用することにより、初乳を介して子牛の下痢の重症化を予防することは可能です。

また、生まれた子牛が初乳を飲まない話をよく聞きます。この問題を解決するひとつが「子牛の保育器」です。ハッチの下がメッシュ構造になっており、下から熱風を当てて子牛を乾燥させるだ

けの機器なのですが、子牛の初乳の飲みがかなり良くなります。本来は子牛の増体を良くするための機器なのですが、下痢で弱った子牛を保温器に入れておくと、子牛のお腹を寒さから守ることができます。輸送費込みの値段で税込み13万6千円前後なので、黒牛であれば子牛1頭助かると元が取れる値段だと思います。寒冷期に子牛の下痢や、初乳の飲みが悪い子牛にお悩みの方は購買課の担当者に相談してください。

酪農をとりまく情勢は厳しいですが、子牛の生産・販売は酪農の経営を支える柱になっていると思います。下痢からの子牛の死亡を減らし、健康な子牛の生産が経営の一助となれば幸いです。



令和4年度らくのうマザーズ執行役員との意見交換会が開催される

9月16日（金）、本年も熊本県酪農青壮年部協議会および熊本県酪農女性部協議会とらくのうマザーズ執行役員との意見交換会が開催されました。

当日は、熊本県酪農青壮年部協議会の中村委員長の挨拶に続き、らくのうマザーズの隈部会長より挨拶があった後、意見交換会が始まりました。

意見交換会では、事前にいただいた意見・質問に対して隈部会長・大川専務・小池常務を中心に回答と説明がありました。主としてらくのう牛乳・ＬＬ製品の販売方法や飼料代の高騰・ヘルパーに係る課題など、生産から販売まで広い分野に関する意見・質問が多くありました。特に今回は11月からの乳価値上げに対する意見や、今後の酪農情勢に対する意見について、執行役員および県役員間で活発な意見が交わされる様子が印象的でした。

例を挙げますと、11月からの乳価の値上げ10円/kgでは十分ではないといったご意見をいただき、乳価交渉についての説明として、売価上昇に伴う一般消費者の牛乳消費離れが懸念されること、その結果、処理不可能乳の発生が危惧される

こと等について説明がありました。そして、らくのうマザーズから経済支援として飼料価格の価格折り込みによる対策などについても紹介がありました。

また、本会の乳業部門について多くの意見・質問があり、乳業メーカーとして多くの期待をいただいていることを実感しました。保健所や市役所等への備蓄品としての販路拡大や新商品の開発等についても意見をいただき、乳業本部で検討を進め、実現へつなげていきたいと意見交換がなされました。

新型コロナウイルス感染症の影響等により今後の酪農情勢はさらに厳しい状況が予想されます。隈部会長は、「酪農家が今後、様々な選択肢を選ぶことができるよう、環境の整備に力をそぞき、らくのうマザーズとしても引き続き様々な対策や支援を実施し、酪農家が笑顔で生活できることを一番に考えて努めていく」旨を述べられ、意見交換会は終了しました。今後も酪農家の意見等を直接らくのうマザーズ執行役員へ伝える場を設け、酪農業界の活性化へ繋げて参ります。



隈部 会長



大川 専務



小池 常務



意見交換会風景



青壮年部：中村 委員長



女性部：富田 会長